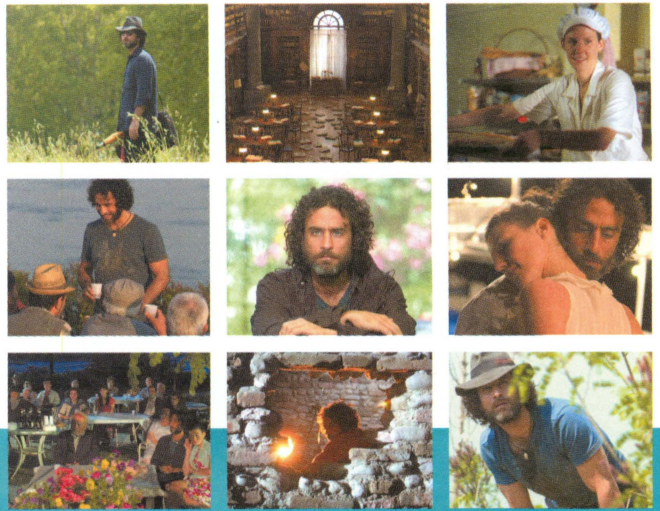


Cento Chiodi



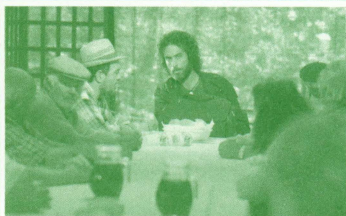
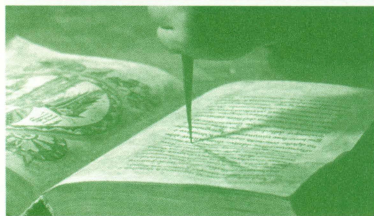
ある日、
川をさかのぼって
キリストさんがやってきた。
そして廃屋で
村人に語り始める―。
名作『木靴の樹』から三〇年。
イタリア映画の巨匠オルミが、
自身の映画人生の最後に描く、
病める時代に贈る
希望への道標。

エルマンノ・オルミ監督作品

カンヌ国際映画祭 特別招待作品

ポー川のひかり

監督・脚本:エルマンノ・オルミ 出演:ラズ・デガン、ルーナ・ベンダンテ、アマナシエド 撮影監督:ファビオ・オルミ 編集:パオロ・コッチ(ニューラ 録音:フランチェスコ・コリネオ 衣装:マリウイ・オミッレノッティ 美術:ジュゼッペ・ビッロッタ 音楽:ファビオ・ヴァッキ 共同製作:チネマ11ウンディチ、ライシネマ 製作:ルイジ・ムジニ、ロベルト・チウト 2006年|94分|カラー|イタリア|イタリア語|DVD-ビデオ|デジタル|ウスタ|原題:Cento Chiodi|日本語字幕:吉岡芳子|文部科学省選定(青年向,成人向)|提供:クレスタインターナショナル、朝日新聞社|配給:クレスタインターナショナル Cress <http://pw-gawa.net/> CINEMAUNDECI+RAI CINEMA presentation: il nuovo film di ERMANNO OLMI CENTOCHIODI con RAZ DEGAN scritto e diretto da ERMANNO OLMI E con LUNA BENDANTI, AMINA SYED, MICHELE ZATTARA, DAMIANO SCAINI, FRANCO ANDREANI direttore della fotografia FABIO OLMI montaggio PAOLO COTTIGNOLA suono FRANCESCO LIOTARD costume MAURIZIO MILLENOTTI scenografia GIUSEPPE PIROTTA musiche originali FABIO VACCHI una riproduzione cinema l'undici e Rai Cinema prodotto da Luigi Masi e Roberto Ciratto © COPY RIGHT 2006 cinema l'undici-Rai Cinema



イタリアの古都ポローニャ。夏休みに入った人気のない大学の図書館で、大量の古文書が太い釘で床に貫かれるという衝撃的な事件が起きる。容疑者として浮かび上がったのは、事件直後に忽然と姿を消した哲学教授だった。若くして将来を嘱望された彼がなぜ？ すべてを捨て、たどり着いたポー川のほとりで彼は何を見出すのか？

名匠オルミ監督が、自らの映画人生を賭けた、渾身の作。

カンヌ国際映画祭グランプリに輝いた『木靴の樹』から30年。イタリアの名匠エルマンノ・オルミ監督が、自身の映画人生、最後の長篇劇映画と位置づける作品が、本作『ポー川のひかり』である。若い哲学教授が、時代に絶望し、過去を捨て、光あふれるポー川を遠くさかのぼり、岸辺の廃屋に住み始める。そして彼をその風貌から「キリストさん」と呼ぶ、素朴な村人との交流をとおして、生の息吹を蘇らせ、真実を見出してゆく――。

ポー川は、イタリア北部を西から東へ、茫漠とした平原を蛇行し、ゆったりと流れる大河だ。古くからイタリアの芸術家に愛されてきた、このポー川流域の美しく牧歌的な時間のなかに、オルミ監督は現代の寓話を見事に描き出した。

人生の豊かさとはなにか？ その本当の意味を問いかける。

絶え間ない紛争、環境問題、さらに経済危機と、今日、世界は急速に破局の危機を迎えようとしている。深い精神性を湛えた作品を撮り続けてきたオルミ監督は、この病める時代に、新約聖書の世界をとおして、人生の豊かさとはなにかを問い、希望のしるしを探ろうとした。

そして完成したのが、イエス・キリストの寓意をひそめ、心を癒すやさしさに満ちた本作である。まさに誠実な人生の結実を感じさせる渾身の作で、余韻は限りなく深く、しかも突きつける問いは根源的である。ここには「温もりのある、真に豊かな生活を得るために、もう一度始まりに帰ろう」という、オルミ監督の現代社会に対する痛切なメッセージがこめられている。

人と自然をやさしく繊細にとらえて。

『木靴の樹』で、自然のなかに生きる農民の暮らしを丹念に見つめたオルミは、本作でも、太古から、人間の暮らしと共にある、水、光、炎、風など、自然の事象をやさしく大切にらえている。野をわたる風、驟雨、岸辺を包む光、論文を燃やす炎のゆらぎ、夜の水面の静謐…。オルミの息子、ファビオ・オルミのカメラは、自然の豊かなディテールを見事に映し出してゆく。光と影が繊細に織り成す絵画のような映像は、観る者を魅了する。

Cento Chiodi

ポー川のひかり

<http://po-gawa.net/>

監督・脚本：エルマンノ・オルミ 出演：ラズ・デガン、ルーナ・ペンダンディ、アミナ・シエド、ミケーレ・ザッタラ、ダミアノ・スカイニ 撮影監督：ファビオ・オルミ
編集：パオロ・コッチェニョーラ 録音：フランチェスコ・リオタルド 衣装：マウリツィオ・ミッレノッティ 美術：ジュゼッペ・ピッコッタ 音楽：ファビオ・ヴァッキ
共同製作：チネマ11ウンディチ、ライシネマ 製作：ルイジ・ムジーニ、ロベルト・チクット 2006年/94分/カラー/イタリア/イタリア語/ヴィスタ/ドルビーデジタル
原題：Cento Chiodi/日本語字幕：吉岡芳子/文部科学省選定(青年向、成人向)/提供：クレストインターナショナル、朝日新聞社 配給：クレストインターナショナル Crest

8月1日(土)よりロードショー

特別鑑賞券¥1,500(税込) | ペア券¥2,900(税込)―お二人様・岩波ホール窓口のみ― 発売中!
当日一般¥1,800 | シニア・学生¥1,500のところ

岩波ホール

03
(3262)
5252

<http://www.iwanami-hall.com/>

●地下鉄(都営三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線)神保町駅A6出口すぐ上
●JR(中央線)水道橋駅または御茶ノ水駅・下車徒歩12分 ●神保町交差点角

上映時間	月～金	11:30	2:30	6:50
(入替制・自由席定員制)	土・日・祝	11:30	2:30	5:30